ONO SOKKI

音響・振動 技術セミナー

Dコース
＜音質評価技術と心理学的測定法の基礎と実習＞

本セミナーは、音質評価と心理学的測定法の基礎を学びたい方を対象とした基礎セミナーです。音質に関する解析技術と音の快音化設計、および人間の聴感印象を計測する技術（心理学的測定法）基礎知識を習得し、ソフトウェアを使用した実習を通して測定技術を体験します。
「音の静音化」から「音の快音化」を目指そうとしていらっしゃる皆様に、ぜひ本セミナーを受講していただき、心理学的測定法および音質評価解析技術に関する知識を深めていただけますよう、ご案内申し上げます。

10月17日 午後　**講師:桑野園子**　大阪大学名誉教授

SD法や一対比較法に代表される心理学的測定法には様々なものがありますが、測定の目的によって最適な方法を選択する必要があります。また、心理学的測定法によって得られた主観評価値のみを扱うのではなく、対応付けられる物理指標と合わせて分析することで、主観的な評価を指標化することも可能です。これらの事例を紹介します。

■心理学的測定法の種類と解説　■音色の３因子と物理との対応　■機械音の不快度評価のための指標　■ラウドネスに関する国際規格動向（新規格 ISO 532について）

10月18日 終日　**講師:桑野園子** 大阪大学名誉教授（午前）
株式会社小野測器（午前・午後）

音質評価指標の意味と算出方法を解説します。また、２人で１台のPCを使用して、時系列データ解析ソフトウェア（Oscope）による音質評価解析の基本的な流れを学びます。周波数フィルタによるターゲット音の確認や考察を行い、操作手順だけでなく解析結果、グラフの見方についても学習することができます。

■心理学的測定法の実習　■音質評価指標の概要　■変動音解析の紹介　■ソフトウェアOscopeを用いた音質評価解析　■心理学的測定法と合わせた音質改善事例紹介

桑野　園子ー講師紹介
1968年大阪大学大学院文学研究科中退、大阪大学助手、助教授を経て、大阪大学教授。 日本学術会議会員、日本音響学会会長、日本騒音制御工学会副会長、国際音響学会副会長などを歴任。工学博士。アメリカ音響学会フェロー。現在は、大阪大学名誉教授。